あきた国際フェスティバル２０２３
報告書

1. 事業概要

（1）開催日時　2023年10月１日（日）10：00～16：00

（2）場　　所　秋田拠点センターアルヴェ「きらめき広場」
（秋田市東通仲町４－１）

（3）主　　催　公益財団法人秋田県国際交流協会

（4）共　　催　独立行政法人国際協力機構東北センター

（5）目　　的　県内の在住外国人による母国紹介や国際交流団体の活動紹介等を通じて、多くの県民と在住外国人が互いの文化に触れ、多文化共生・国際交流・国際協力等への理解を深める。

2. 県民参加の促進

■合計　1,314人

（来場者 1,150人：ブース・パフォーマンス関係者139人：スタッフ・ボランティア25人）

より多くの県民に気軽に参加してもらえるよう、交通アクセスの良い秋田拠点センター「アルヴェ」を会場に、キッチンカー出店などの企画や広報の充実を図って開催したことにより、幅広い国・地域・年齢層の県民が来場した。ワールドブースやステージパフォーマンス等を通じて、普段は交流機会の少ない在住外国人と県民が触れ合い、お互いへの理解を深める貴重な場となった。

3. ワールドブース

在住外国人による母国・文化紹介や国際交流団体による活動紹介が行われるワールドブースでは、各ブースを回りクイズに答えるスタンプラリーが実施され、多くの県民が18の国・地域、35団体に及ぶ多様な出展者との交流を楽しんだ。

■出展：35団体 ／バニヤンツリー（バングラディッシュ）、バハィクーボ（フィリピン）、ウィジャヤクスマ（インドネシア）、秋ネパ友好協会（ネパール）、ドイツ、ロシア、アメリカ、中国、韓国、ニュージーランド、アフリカ、ブラジル、アルゼンチン、秋田高専留学生グループ（カンボジア、ブルネイ、マレーシア、ラオス）、チャリティーアキタ、タイ（由利本荘市日本語教室）、技能実習生（インドネシア）、日本語教室ニジアス、ヒッポファミリークラブ、秋田ボーダーレススピーカーズ、秋田県日中友好協会・女性委員会、秋田県人権擁護委員協議会、日本国際連合協会秋田県支部、秋田ユネスコ協会、青年海外協力隊秋田県ＯＢ会、秋田ゾンタクラブ、ガールスカウト秋田県連盟、国際交流オープンクラス、仙台出入国在留管理局、秋田市、大仙市国際交流協会、JICA東北　　※順不同

4. ステージパフォーマンス

ステージでは県内在住外国人による伝統舞踊やダンス、民族楽器の演奏など多彩なパフォーマンスが披露され、観覧者も手拍子したり一緒に踊ったりなどして異文化体験を楽しんだ。プログラムの最後を飾ったインドネシアの伝統舞踊では、多様なルーツを持つ在住外国人と県民が入り混じって踊り、大盛り上がりのフィナーレとなった。

■出　演：スコットランドのバグパイプ演奏／コロンビアのラテンダンス／タイの伝統舞踊／アフリカのダンス／ネパールの民族踊り／国際協力活動に関するクイズ（青年海外協力隊OB会）／インドネシア伝統舞踊　※出演順
■その他：ブース出展者インタビュー

5. JICA

JICA海外協力隊派遣記念（フィジー40周年・キリバス15周年）写真展を行い、協力隊の活動地域や活躍分野の多様さを周知できる機会となった。また、JP-MIRAIが実施している「外国人労働者の人権を守るキャンペーン」の広報活動も行った。

6. AIA

外国人相談センターやＡＩＡコミュニティサポーター制度、あきたのファミリーなどの事業のほか、毎週木曜日に協会内で開催しているInternational Day（国際交流員などとの交流サロン）などの紹介を行った。

7. 多文化共生パネル展示

県内の在住外国人数の推移や在住外国人が日本で暮らすうえでの様々な壁（ことばの壁、心の壁、文化の壁、制度の壁）、「やさしい日本語」の使用や災害時のサポートの必要性など、多文化共生について理解を深めてもらうための展示を行った。